常不軽菩薩の生き方に切り替えよう

【9 月 10 月度の御金言】日蓮といゐし者は、去年九月十二日子丑の時に頚はねられぬ。此れは魂魄佐土の国にいたりて、返る年の二月雪中にしるして、有縁の弟子へをくれば、をそろしくてをそろしからず。みん人いかにをぢずらむ。

【開目抄】（全集 223 頁）

法華講信条

1,謗法厳戒の信仰を貫こう。（信心）
1,行学絶へなば仏法はあるべからず。（行学）
1,ただ一言でも妙法を伝える勇気を持とう。（破邪顕正）
1,どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
1,現世利益絶対否定の信心をしよう。（示教利喜）
1,成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
1,御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。

☆ 9 月 13 日の 13 時からの日蓮大聖人御報恩御講は第 45 回三寶院法華講総会を合併して行います。一人でも多くの方々が参詣参加され、三寶院の現状を自分の事として考えて頂きたいと思います。

三寶院が 1981 年 9 月 15 日東福山に【福山布教所】として開所してから 45 年目、千田町へ 1985 年 11 月 10 日に移転してより 40 年目、2006 年 8 月 20 日新寺建立して 20 年目の佳節になります。その事からも、この度、外装の塗り替えを行い、御信者さんの普段からの真心の御供養の御陰で美観を整える事が出来ました。改めて御本尊様に、この事を御報告申し上げると共に、御信者さん一同に感謝御礼申し上げます。

☆行学絶へなば仏法はあるべからず。（行学）

身内が亡くなった時、葬式や法事をしなければならない時に困るから、三寶院へ名前だけでも所属しておこうという人がいます。しかし、三寶院は、葬式も法事も大事ですから懇ろに執行しますが、それよりも大事な存在理由は、【信仰の道場】として皆さん方に、南無妙法蓮華経が何か、南無妙法蓮華経が自分にとって何故大切なのかを学び伝え鍛錬するための道場（練習場・鍛錬場）が三寶院の本来の役目、存在理由であります。

自分が手を合わせている本尊は何が書いてあるのか？何を表現しているのか？南無妙法蓮華経とは何なのか？唱える御経は何が書いてあるのか？何故御経、御題目を唱え法事、葬式をして、大切な故人、先祖代々之霊の成仏が叶うのか？

おっぱいや食物の栄養成分を知らなくても、赤ちゃんが大きくなるように、私達は生きていけます。しかし極端な偏食を長年続ければ、病気になります。そうすると、食べてはいけない物、食べなければいけないものを学び知り、食品の栄養成分を知り、自分の生命を守るために心懸けなければ成りません。

信心も一緒で、子供の時、入信したての時は、何も知らなくても当然です。しかし、十年二十年経っているのに、朝晩の勤行もしないで、葬儀や法事の時困るからという保険の様な考えでは、名ばかりで心から、信念として信じているとは言えないのであります。ましてや日蓮大聖人の法は【謗法厳戒】の法で、御祭、クリスマス、世間の色々な宗教行事

に参加協力、御守りを買う、おみくじを引く、宗教グッズ、かみふだを求める等々の事を絶対にしてはいけないという信仰であります。きゅうくつで、めんどくさいな、かくれてやるか、ばれなければ良いだろうではなく、何故そうなのかを学び知って、御寺の為、住職の為ではなく、自分自身の成仏の為、自分自身生命の為に日蓮大聖人の法が、どういうものなのかを学び知って、御寺の為で無く、自分自身の生命の為に日蓮大聖人の法が何かを学ぶ為、葬儀や法事の時だけでなく、月々の日程表に記載された法要の時に参詣し、日蓮大聖人の法を学び、自分が実行すべき信心修行が何なのかを知った上で、名前だけの所属信者でなく、自分の心からの信心をして頂きたいのであります。何回聞いても分からない、忘れてしまうという人がいますが、一回聞いたら忘れないで実行出来る人は、ほとんどいません。何度でも何度でも聞き、忘れたら又聞いて思い出す。それが【信行学】です。